QUESTION & ANSWER

グレコギターコミューン係には一日平均100通ものおたよりが全国のギターキッドから送られてきます。オーダーメイドについて、あるいは改造について、さまざまな質問が寄せられます。
このページはそういった質問の中から、特に多い質問、そしてこのくらいは知っておきたい基礎的な問題についてQ&A方式で説明していきたいと思います。

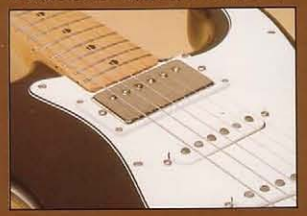
Q：リードギターを買いたいのですがグレコのギターの中でどれがリードギターなのですか教えてください。
A：知っている人にとっては信じられないような質問ですがこれが意外に多いのです。初心者あるいはこれからギターを始める人がよく感違いしている問題です。
リードギターとはバンドの中におけるパートを意味する言葉なのです。(ベンチャーズの例で説明するとメロディーを弾いているノーキー・エドワーズがバンドの中のリードギターということです。)リードギターというのは楽器の種類を表わす言葉ではありません。
ですからEGを使おうとSEを使おうと自由だということになります。
それからサイドギターやリズムギターを違うものだと思っている人も多いようですがサイドギター、リズムギター、そしてセカンドギターはほぼ同じパートだということも覚えておいてください。

Q：はじめてギターを持つ人にはどんなギターが良いのですか。
A：はじめてだからという選び方も確かにありますが、要は自分がどんな音楽をやりたいのかということの方が大切です。ギンギンのハードロックをやりたい人がフルアコを買っても仕方がないのですから、それなりのギターを選んでそのラインナップの中から予算に合ったものを選ぶとよいでしょう。

Q：ハムバッキングピックアップとかシングルコイルピックアップなどの違いを教えてください。
A：この種の質問の理論的な説明は専門の出版物を見ていただくとして、ここではもっと具体的に説明しましょう。シングルコイルピックアップはSEなどに代表される細長いピックアップのことで、音色は明るく高音域がキレイなサウンドですから歯切れの良いコードワークなどが可能です。
ハムバッキングピックアップはEGなどに代表される長方形のピックアップで、中身はシングルコイルピックアップが2つ並んだようなカタチをしています。このピックアップの特色は伸びのあるサウンドそしてパワフルなディストーションにあります。ハードロックなどにはもってこいのサウンドです。

Q：ハムバッキングピックアップのカバーを取ってオープンタイプにしたいのですが音色はどうなりますか、またその方法を教えてください。
A：ピックアップのカバーを取ると音が変わるか？　確かにいくらか感度が増すためにパワフルになるのは本当です。しかしこの件に関しては音色よりもむしろルックス的な好みで行なうというぐらいに考えた方が良いと思います。カバーを取り除く場合は次の順序で行なってください。
1．まずピックアップを本体から取りはずす。
2．ハンダゴテをよく熱ためておきピックアップ裏面のハンダを溶かす。
3．溶けたら机などに軽くたたきつけて溶けたハンダを出してしまう。(ハンダが固まらないうちに素早く行なうこと)
4．ハンダが全部取り除けたらカバーを抜き取る。

Q：SEを使っていますがEGのようなサウンドにしたいのでハムバッキングピックアップを取り付けようと思うのですが可能ですか。
A：改造は可能です。この場合頭に入れておいてほしいことは、いくらハムバッキングピックアップを付けたからといってもEGそのもののサウンドにはならないということです。EGにはEGの、SEにはSEの特性があるので、あくまで似たような音になるということを理解したうえで改造を行なってください。



Q：SEやEXなどは単板ボディとカタログに書いてあるのにボクのSE600は3枚ツギになっています。これは間違いではないのですか。
A：単板ボディというコトバの意味が正確に理解されていないためかこのようなおたよりが後をたちません。ギターにおける単板とは全くの1枚というのではなくて、2～3枚の板（これはあくまで1枚板です）を接合させて使うという意味なのです。全くの1枚ですと年月経過にともなって一方向へのソリが出てくる可能性があるため、2～3枚の木をうまく合わせて使用するわけです。もちろん合板(ベニア)とは違います。

Q：よくオクターブ・チェックという言葉を耳にしますがどういう意味なのですか、また調整方法を教えてください。
A：オクターブ・チェックというのはブリッジ調整のことで、このブリッジが正確に調整されていない場合には、ちゃんとチューニングしたつもりでもハイフレットになるにつれて音がズレてくる現象が起こります。
調整方法としては12フレットのハーモニックスと実音が同じ音程になるようにブリッジを前後させれば良いわけですが、実際は12フレットよりも19フレットで行なった方がより確かに聞こえます(特にベースなどは19フレットの方が良い)。実音の方がハーモニックスよりも高く聞こえたらブリッジをエンドピン方向に下げてやり、低く聞こえたらネック方向に出してやるようにします。弦を張り変えたらその都度行なってください。

Q：毎日の練習のあとは弦をゆるめた方が良いのでしょうか。
A：この問題に関しては賛否両論あるようですが、グレコギターではゆるめる必要はないと考えています。一ヶ月も二ヶ月も弾かずに置いておく場合はゆるめた方が良いようですがほとんど毎日といっていい程ギターを手にする人はゆるめなくても良い、というよりもゆるめる必要はないでしょう。結局は自分が決めることです。これが本当でこれがウソだということはないのですから。

SINGLE SOUND SWITCH

GO900に採用されているシングルサウンドスイッチはハムバッキングピックアップをシングルコイルピックアップとして使うためのスイッチですが、従来のハムバッキングピックアップに取り付けてあるコイルタップスイッチとは異なりシングルにした時にパワーが落ちるといった問題を解消した画期的なスイッチです。その秘密はチョコレートカバーのPU－3DSピックアップにあります。ハムバッキングピックアップはご存じのとうり2つのコイルから成っており、PU－3DSの場合ですと各4900ターンのコイルが巻かれているわけです。(下図参照)
ハムバッキングとして使用する場合には合計9800ターンのピックアップとして働きます。ここで従来のハムバッキングピックアップですとそのままどちらかのコイルを使って4900ターンのシングルコイルピックアップとして使うわけですが、PU－3DSには一方のコイルに1900ターンのコイルが付いてありシングルサウンドスイッチをONにするとそのコイルに1900ターンのコイルがプラスされて6800ターンのシングルコイルピックアップとして働くため、出力の低下がなく素晴らしいシングルサウンドが得られるわけです。

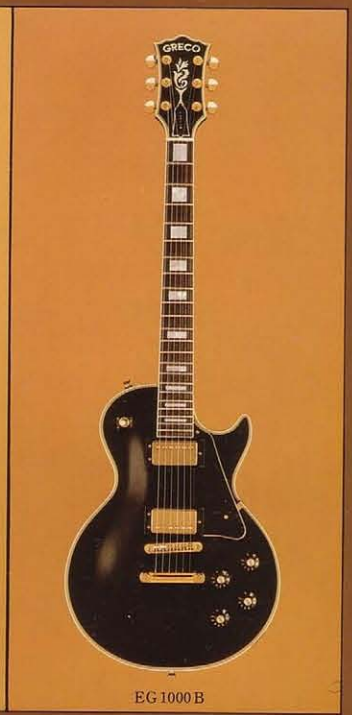
EG1000
¥100,000

セレクテッド・メイプル単板削り出しのトップとソリッドマホガニーバックのボディーに、最高級のメイプルネックをセットしたプロタイプのカスタムモデルEG1000。
ゴールドプレート・カバーのPU-2ピックアップをはじめ白蝶貝のヘッドインレイ、ポジションマークなどカスタムの名にふさわしいモデルです。

Body
メイプル単板削り出しトップ
マホガニー単板バック
ボリューム・コントロール×2
トーン・コントロール×2
3段切替スイッチ
PU－2ピックアップ×2

Neck
メイプルネック、エボニー指板
セットネック
白蝶貝ブロック・ポジションマーク
白蝶貝ヘッド・インレイ
グローバー糸巻、ゴールドパーツ
EG1000R、EG1000B、EG1000WR

EG1000R



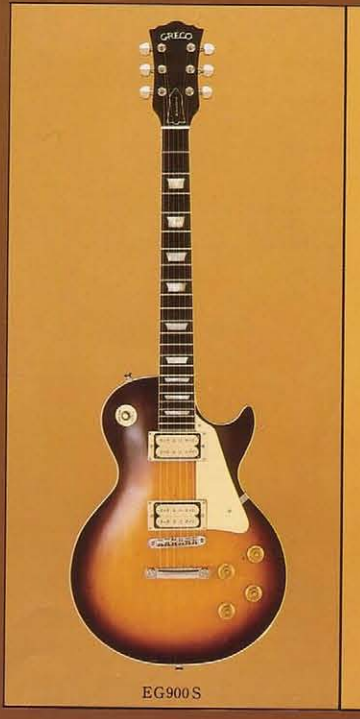
EG1000B

EG900
¥90,000

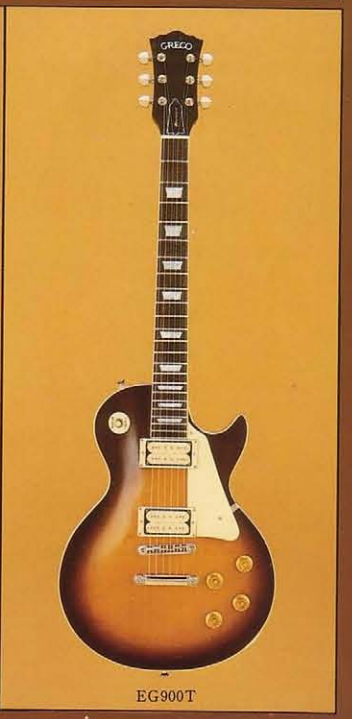
50年代後期の枯れたハムバッキングサウンドをみごとによみがえらせたスタンダードタイプの代表作。
メイプル単板削り出しトップのボディには米国ディマジオ社の「PAF」ピックアップをマウント、また回転微調製が可能なMH804糸巻は確実なチューニングを約束します。

Body
メイプル単板削り出しトップ
マホガニー単板バック
ボリューム・コントロール×2
トーン・コントロール×2
3段切替スイッチ
ディマジオ「PAF」ピックアップ×2

Neck
メイプルネック、エボニー指板
セットネック
ディマジオ・ポジションマーク
グレコMH804糸巻
EG900S、EG900R、EG900T、EG900B



EG900S



EG900T

モデル名の次にくるアルファベットはつぎのカラーを示します。R＝レッドサンバースト　B＝ブラック　WR＝ワインレッド　S＝サンバースト　T＝タバコブラウンサンバースト